

# 長 生 園

[施設の種類]	養護老人ホーム
[入所定員]	50人
[所在地]	八戸市大字是川字狹森 33 番地
[建設年月日]	平成4年11月1日
[事業開始年月日]	平成21年4月1日
[施設の概要]	敷地 11,931 m <sup>2</sup> 建物 鉄筋コンクリート造平家建 延床面積 2,948.96 m <sup>2</sup> 附属建物 機械室 12.3 m <sup>2</sup>

## 1 事業運営の基本方針

- (1) 入所者がその能力に応じ自立した日常生活が営むことができるよう、指導、訓練及び援助を行う。
- (2) 熱意及び能力を有する職員の育成に努め、常に入所者の意思と人格を尊重しながら、その立場に立った適切な処遇に努める。
- (3) 明るく家庭的な雰囲気有し、地域や家庭との結びつきを重視した運営を行う。
- (4) 老人福祉を増進する事業を行う他の事業者との連携に努める。

### 【元年度重点目標及び新規取組事項の実施状況】

重点目標・新規取組事項	実 施 状 況
自治体、関係機関と連携・情報共有を密にし、安定的・持続的な施設運営に努める。	<p>5月には入所要件等について、10月には措置費の改定等について、八戸市高齢福祉課と協議を行った。そのほか、随時、情報交換を行ったことにより、八戸市からの入所者は16名となり、12名の退所者があったものの、4名増となり、安定的運営に繋がった。</p> <p>また、周辺措置市町村には定期的にメールマガジンを送付したほか、7月と8月には、二戸市や五戸町など7つの周辺措置市町村を訪問し、情報提供を行ったが、周辺市町村からの入所はなかった。</p>
入所者の口腔個別計画に基づき、一人ひとりに応じた口腔ケアを実践し、入所者全員の口腔環境の改善を図る。	<p>入所者個々の口腔に関する課題及び歯科医師からの指示内容に基づき、口腔個別計画を作成し、定期的(月1回)に口腔ケアを実施した。</p> <p>また、3ヶ月ごとに評価と課題の抽出を行い、歯科医師と連携し、義歯洗浄・虫歯治療のほか、必要に応じて義歯の使用を勧めた。</p> <p>職員が正しい歯の磨き方や義歯洗浄の仕方について模型を使って指導し、口腔ケアの重要性を理解してもらうための勉強会を行った。</p> <p>さらに、歯科医師を講師として招き、オーラルフレイルの予防について学ぶとともに、口腔ケアに対する意識を把握するために、入所者全員にアンケートを実施し、問題点や今後のケアについて職員間で情報共有を行った。</p> <p>口腔ケアを実践することで、食後の歯磨きが習慣化さ</p>

	れ、むせ込む入所者が激減し、誤嚥性肺炎の発症者もゼロであった。結果として、入所者全員の口腔環境の改善を図ることができた。
--	--

## 2 入所者の処遇

### (1) 給食管理

- ① 季節の食材・地元食材を使った料理、祭事に絡めた料理などを取り入れ、入所者の食欲が維持できるよう献立作成に努めた。
- ② 給食委託業者が発注する食材の選定には十分配慮し、入所者への食事提供を安全に行った。
- ③ 年2回の嗜好調査及び3食毎の残菜調査を実施し、一人ひとりの嗜好に合った食事提供と食事形態の改善を行った。
- ④ バイキング食や行事食を組み入れることにより、入所者の気分転換や食欲の維持、増進を図った。
- ⑤ 筋力低下予防のため、現状の食事内容を見直し、たんぱく質強化に努めた。
- ⑥ 身体機能の低下等により、自分で食事摂取することが困難な入所者に対し、個々の状態に応じた介護用食器を取り入れることにより、自立性を高め、食べる事への意欲に繋げた。
- ⑦ 入所者の健康維持のため、栄養ケア計画書を作成し、入所者の食事管理に努めた。
- ⑧ 口腔ケアや嚥下についての内部研修を実施し、食事中のむせ込みや誤嚥性肺炎の防止に努めた。
- ⑨ 給食委託業者と定期的な会議を開催し、連携を密にすることにより、個別対応やソフト食等、入所者のニーズに対応した食事提供に努めた。

### (2) 生活支援

- ① 入所者の心身の状況及び入所者が有する能力に応じ、自立した日常生活を営むための処遇計画を作成し、その計画に基づき、入所者一人ひとりの状態に合わせた支援を行った。
- ② 入所者との個別面談を定期的に行い、入所者の希望や意見を取り入れ、個別支援の質の向上に努めた。
- ③ 入所者の口腔個別計画に基づき、口腔ケアを行った。
- ④ 入所者の介護ニーズに対応した介護保険サービスが利用できるよう、居宅介護支援事業所、介護サービス提供事業所との連携を密に行った。
- ⑤ 下肢筋力アップ運動、ロコモ体操等を実施し、認知症及び身体機能の向上に努めた。
- ⑥ 定期的に電話や手紙等で入所者の状況等を家族へ伝え、緊急時の連絡・協力体制の確保に努めた。
- ⑦ 収穫祭など園内行事へ入所者の家族を招待し、入所者と家族との交流を図った。
- ⑧ 高齢化に伴う身体機能の低下が著しい入所者については、家族と連絡をとり、介護保険施設への移行申請等の助言、支援を行った。
- ⑨ 各種教室(介護予防教室、地域文化教室、手芸教室、カラオケ教室、折り紙教室、メイク教室)や園内行事(スイカ割、運動会、おやつ作り、棒サッカー)のほか、日帰りレクリエーションを実施し、入所者の生活意欲の増進を図った。
- ⑩ 入所者が全員参加できる園内での行事写真上映会や畑での野菜作りなどを実施し、入所者の生きがい作りに努めた。
- ⑪ 入所者の身体や着衣・寝具及び居室内の清潔保持に努めた。
- ⑫ 入所者の金銭管理については、預貯金を原則とし、現金での管理は避けた。
- ⑬ 入所者の通帳、印鑑、個人番号通知カードについては、本人からの依頼により園で保管した。
- ⑭ 一時保護に対応できるよう、衣類や寝具等の点検を定期的に行った。

### (3) 環境整備

- ① ボイラーや空調機器等、機械設備の定期点検を行い、入所者が快適に生活できる環境を整えた。
- ② 入所者が安全かつ快適に入浴できるように浴室の段差を解消した。
- ③ 入所者がくつろげる場所になるよう、デイルームのテーブルと椅子の配置換えをした。
- ④ 6ヵ月ごとに1回、園内の大掃除を行った。
- ⑤ 手すりや椅子等を定期的に点検し、入所者が安全に生活できる施設環境を整えた。

### 3 健康管理

- (1) 嘱託医及び各主治医との連携を密にし、入所者の健康状態を把握して、異常の早期発見と早期対応に努めた。その他、必要に応じて医療機関への受診介助を行った。
- (2) 健康診断を年2回実施し、入所者の健康状態を把握し、異常の早期発見に努めた。
- (3) 結核検診を令和元年7月に実施し、感染予防に努めた。
- (4) 嘱託医による入所者及び職員を対象としたインフルエンザ予防対策研修会を、11月に開催した。また、入所者、職員全員のインフルエンザ予防接種を行い、感染予防を行った。
- (5) 医療、看護等に関する研修に参加し、内部研修を実施することにより、研修で得た知識を職員間で共有し、知識とスキルの向上に努めた。
- (6) 医療会議を毎月開催し、職員間で入所者の健康状態を情報共有のうえ、医療、看護、介護、栄養面からの援助を行い、入所者の良好な健康状態の維持に努めた。
- (7) 入所者が利用するデイサービス事業所と連携を図り、入所者の情報を共有し、良好な健康状態の維持に努めた。
- (8) 入所者に重篤な症状が発症した場合に、職員が速やかに対応できるよう、定期的に内部研修を実施し、知識を深めた。
- (9) 入所者の誤嚥等を予防するため、歯科医院と連携し、9月に歯科医師による講話会と歯科検診を実施した。また、毎月の往診による治療や歯科医師の助言のもと口腔ケアを実施した。
- (10) 入所者の口腔個別計画に基づき、一人ひとりの口腔環境に合わせた助言と指導を行った。
- (11) 感染症の予防や発生時の感染拡大防止のために、標準予防措置策の徹底を図った。
- (12) 感染症の発生時に、迅速かつ適切な対応が取れるよう、2月に内部実践研修を実施した。
- (13) 入所者への与薬については、定期的な内部研修のほか、マニュアルに則り適切に行った。
- (14) 対象入所者については、高齢者肺炎球菌ワクチンの予防接種を受けた。

### 4 苦情への対応及び虐待防止

#### (1) 苦情への対応

「施設利用者等の苦情解決制度実施要綱」に基づき、責任者、受付担当者及び第三者委員を設置し、苦情解決に関する体制を整備するとともに、施設内に苦情解決の仕組みを掲示し、入所者及び家族への周知を図った。

また、前年度に引き続き、第三者委員への報告会（現況報告・情報交換等）を実施した。

令和元年度苦情受付数     0件

#### ○第三者委員

下 舘     敏     (風張町内会長)  
野 澤   壽 代   (是川地区民生委員主任児童委員)  
前 田   恵美子   (長者地区・天狗沢・番屋・鴨平・土橋民生委員)

(2) 虐待防止

「長生園虐待防止委員会設置要綱」に基づき、虐待防止に関する体制を整備した。

また、入所者の虐待防止等について、虐待防止のための自己評価と検討委員会を年4回、内部研修を年2回開催し、入所者の心身の安全と尊厳の保持に努めた。

(3) 身体拘束等の適正化

身体拘束等の適正化について、年4回の委員会と年2回の内部研修を実施した。

5 施設サービス評価

入所者を個人として尊重し、常に入所者本位で対応するため、施設が行うサービスについて自己評価を行い、改善すべき課題を明確にし、サービスの質の向上を図った。

また、八戸市による社会福祉施設に係る指導監査を受け、指摘事項はなかった。

6 安全管理

(1) 施設の設備機器について、委託業者による保守点検のほか自主点検により、不良箇所の早期発見に努め、適切な修繕等を施し、安全管理に努めた。

(2) 消防訓練の計画を立て、夜間想定を含む消防訓練を年3回実施した。

(3) 地震・土砂災害・風水害発生時の対応マニュアルに基づき防災訓練の計画をたて、夜間想定を含む防災訓練を行ったほか、防災についてのビデオ上映会を開催した。

(4) 個人情報については、入所者や家族に対して利用目的を明確にして同意を得、使用にあたっては細心の注意を払い、必要最低限の範囲で使用した。

(5) 事故発生はなかったが、ヒヤリハットについての事故防止委員会を定期的で開催し、事故予防に努めた。

(6) 救急対応や不審者への対応などの内部研修を行い、非常時等に迅速かつ適切に対応できるようにした。

(7) 3日分の非常食(食糧と水)・衛生用品・防災セットを備蓄し、災害に備えた。

(8) 栄養士、厨房職員を対象に毎月1回(赤痢菌・腸管出血性大腸菌・サルモネラ菌・腸チフス菌・パラチフス菌)の検便と、ノロウイルス流行時期の10月～3月までの6ヶ月はノロウイルスの検便を実施し、食の安全に努めた。

(9) 感染症対策委員会で作成した年間スケジュールを基に、職員・入所者・厨房職員を対象に、食中毒、ノロウイルス、インフルエンザ等の感染予防について内部研修を行った。また、ノロウイルス対策として、嘔吐物の処置方法について、内部実践研修を行った。

7 地域貢献・地域との交流等

(1) ボランティアの受け入れ

ボランティア受け入れの態勢は整えていたが、申し込みはなかった。

(2) 実習生の受け入れ

所属等	実習内容	期間	人数
京都女子大学	介護体験	8月19日～8月21日	1名
合計			1名

(3) 地域との交流・連携等

○慰問

月	日	内 容
6	8	青森県立八戸商業高等学校訪問（郷土カルタ交流）1回目
6	13	南部昔っこ 高橋セツ子様訪問
6	15	青森県立八戸商業高等学校訪問（郷土カルタ交流）2回目
6	20	八戸虹の会訪問
6	22	青森県立八戸商業高等学校訪問（郷土カルタ交流）3回目
6	29	青森県立八戸商業高等学校訪問（郷土カルタ交流）4回目
7	6	青森県立八戸商業高等学校訪問（郷土カルタ交流）5回目
9	6	聖ウルスラ学院幼稚園訪問
11	1	十和田市立大深内中学校（駒踊りの披露）
11	18	南部昔っこ 高橋セツ子様訪問
12	4	八戸市老人クラブ連合会是川地区訪問
12	7	陸上自衛隊八戸駐屯地曹友会訪問（餅つき交流会）

○是川地区の介護予防教室

月	日	実 施 内 容
4	24	是川地区介護予防教室（是川団地中央集会所）
5	22	是川地区介護予防教室（是川団地中央集会所）
6	26	是川地区介護予防教室（是川団地中央集会所）※講師として派遣
7	24	是川地区介護予防教室（是川団地中央集会所）
8	28	是川地区介護予防教室（是川団地中央集会所）
9	25	是川地区介護予防教室（是川団地中央集会所）
10	23	是川地区介護予防教室（是川団地中央集会所）
11	27	是川地区介護予防教室（是川団地中央集会所）
12	25	是川地区介護予防教室（是川団地中央集会所）
1	22	是川地区介護予防教室（是川団地中央集会所）
2	26	是川地区介護予防教室（是川団地中央集会所）

○石手洗地区介護予防教室

月	日	実 施 内 容
8	24	石手洗地区介護予防教室（石手洗生活館）※講師として派遣

○「介護の日」フォーラム in はちのへ

月	日	実 施 内 容
11	11	「介護食展示・試食コーナー」ブース担当の派遣依頼

○地域との交流

月	日	内 容
7	12	是川地区座談会及び懇親会出席
9	7	こどもの城保育園運動会出席
9	15	是川地区敬老会出席
10	10	長生園収穫祭への招待（地域団体・住民等）
11	29	是川・中居林地区懇親会出席
12	16	是川地区忘年会出席
1	26	是川地区新春の集い出席

※是川地区民生委員・児童委員協議会（月1回）出席、圏域ケア会議（8月）出席

○地域貢献

月	日	内 容
9	27	是川あおぞら市よろず相談処の派遣依頼
11	22	是川あおぞら市よろず相談処の派遣依頼
1	24	是川あおぞら市よろず相談処の派遣依頼
2	28	是川あおぞら市よろず相談処の派遣依頼

8 年間行事の実施状況

月	日	行 事 内 容	場 所
4	18	長生園開園記念式典	園内
	25	お花見会	園内
5	10	農作業開始(畑：じゃが芋植え)	園敷地内
	15	定期健康診断(1回目)	園内
	20～24	口腔ケア指導(1回目)	園内
	23	ポケネット大会	園内
	30	長生園だより発行(1回目)	園内
	31	園芸作業開始(中庭：花植え)	園敷地内
6	6	手洗い指導(1回目)	園内
		食中毒予防(ビデオ視聴)・手洗い指導	園内
	17～21	口腔ケア指導(2回目)	園内
	18	衣料訪問販売(1回目)	園内
7	3	七夕飾りつけ	園内
	11・18	デパート買い物(1回目)	市内
	16	入所者結核検診	園内
8	1	八戸三社大祭見学	市内
	15	盆供養	園内
	20	八戸市博物館特別展見学(八戸80年の歩み)	市内
	22	スイカ割	園内
	27	農作業(じゃが芋収穫)	園敷地内
9	3	お歯科医師による講話会	園内
	9・19	農作業(枝豆収穫)	園敷地内
	12	敬老会	園内
	19	おやつ作り	園内
	24	秋彼岸供養	園内
	30	長生園だより発行(2回目)	園内
10	01	農作業(さつま芋、枝豆、菊収穫)	園敷地内
	10	収穫祭	園内
	24	インフルエンザ予防健康講話会	園内
	29	大掃除	園内
11	7	ノロウイルス予防ビデオ視聴 手洗い指導	園内
	8	インフルエンザ予防接種	園内
	12	日帰りレクリエーション(おおのキャンパス)	岩手県
	14	デパート買い物(2回目)	市内
	22	定期健康診断	園内
	27	納骨塔開帳記念式	園内

12	3	クリスマスツリー飾り付け	園内
	7	陸上自衛隊曹友会(餅つき)	園内
	10~15	入所者の寝具丸洗い	園内
	12	衣料訪問販売(2回目)	園内
	19	年越し供養会	園内
	20	大掃除	園内
01	7	かるた・福笑い大会	園内
	23	おやつ作り	園内
	31	長生園だより発行(3回目)	園内
2	4	節分会	園内
	10	土砂災害・風水害に備えた合同訓練	園内
	18	お茶会	園内
		夜間想定地震訓練	園内
	25	夜間想定火災訓練	園内
28	是川地区あおぞら市買い物	市内	
3	5	カラオケ大会	園内
	10	おやつ作り	園内
	17	避難訓練	園内
		防災DVD鑑賞	園内
	19	春彼岸供養	園内
	25	棒サッカー	園内

※定期的に行ったもの

- ・地域文化教室、カラオケ教室、介護予防教室、手芸教室、折り紙教室、メイク教室、
- ・誕生会、バイキング食、買い物、行事写真上映会、園芸

## 9 研修計画

### ○内部研修

月	日	研修内容	人数
4	15	第1回中堅職員研修「人事評価」	1名
7	29	水分補給について	7名
8	27	結核について	7名
10	30	聴覚障害について-知識編-(1回目)	12名
11	1	聴覚障害について-対応編-(2回目)	11名
11	29	虐待防止について(1回目)	9名
12	18	第2回中堅職員研修「人事評価」	2名
	26	不審者対応について	8名
1	19	実践研修報告会	11名
	28	口腔・嚥下について	6名
2	3	感染症対策について	6名
3	16	認知症タイプ別ケアについて	8名
	17	緊急時の対応(救急法など)について	7名
	26	困難事例の取り組みについて	6名
	27	虐待防止について(2回目)	7名
合 計			108名

○外部研修

月	日	研 修 内 容	開催地	人数
5	22	青森県介護人材確保・定着支援事業公開講座	八戸市	1名
	27	省エネ&補助金活用セミナー	八戸市	2名
6	29	職員スキルアップ研修会	青森市	1名
7	2	介護労働者雇用管理責任者講習「雇用管理総論」	八戸市	1名
	2・3	階層別研修「初任者のためのソーシャルスキルアップ」	青森市	1名
	11	栄養・食育マネジメントセミナーⅡ	青森市	1名
8	20	チームワーク向上プログラム出前講座	八戸市	1名
	24	介護従事者のための公開講座	八戸市	1名
	28	社会福祉施設中堅・指導的職員研修	青森市	1名
3・4				
9	6	東北ブロック老人福祉施設研究会	仙台市	1名
	11	第1回養護部会及び養護老人ホーム施設長による情報交換会	青森市	1名
	13	介護労働者雇用管理責任者講習「人事管理」	八戸市	1名
	18	介護スキルアップ研修	青森市	1名
	20	軽費・養護老人ホーム経営セミナー	東京都	1名
	26	包括的支援事業研修会	八戸市	1名
	26・27	会計セミナー「基本編」	仙台市	1名
	10	11	フレイル予防	八戸市
15		認知症タイプ別ケア研修会	青森市	1名
16		栄養士部会研修会	十和田市	1名
		保証人問題の解決推進セミナー	青森市	1名
23		介護サービス情報の公表制度「10の研修テーマ」に係る研修会	青森市	1名
24・25		福祉職員キャリアパス対応生涯「中堅職員コース」	青森市	2名
28		養護老人ホーム職員研修会「困難事例検討会」	青森市	1名
11	13	施設における感染症予防対策についての研修会	八戸市	1名
	19	青森県感染対策研修会（基本編）	青森市	2名
	20	労働セミナー	八戸市	1名
	21	介護技術レベルアップ研修会	青森市	1名
1	10	特定給食施設等栄養管理研修会	八戸市	1名
	17	高齢者虐待防止研修会	八戸市	2名
	29	栄養士部会研修会	八戸市	1名
2	3	普通救命講習	八戸市	2名
	19	養護老人ホーム職員研修会「取組結果報告会」	青森市	1名
合 計				37名

10 寄附の状況

寄附申込者	寄附目的・品名	金 額	受領年月日
栃木 忠勝	介護用リハビリパンツ、ポータブルトイレ、折り畳みベッド等	—	平成31年 4月 3日

小泉 洋子	介護用おむつ等	—	平成 31 年 4 月 19 日
八戸南ロータリークラブ	三社大祭観覧お茶菓子代	10,000 円	令和 元年 7 月 23 日
公益社団法人青森県老人福祉協会	「津軽弁の日」CD60 枚	—	令和 元年 8 月 15 日
富士産業株式会社	薬用入浴剤 15 箱	—	令和 元年 9 月 24 日
是川地区民生委員児童委員協議会会長	現代日本の文学「川端康成」ほか 76 冊書籍	—	令和 元年 10 月 11 日
八戸市老人クラブ連合会	フェイスタオル 60 枚	—	令和 元年 12 月 4 日
富士産業株式会社	薬用入浴剤 15 箱	—	令和 元年 12 月 23 日

## 11 業務体制（定員 50 人）

○人員に関する配置基準（養護老人ホームの設備及び運営に関する基準第 12 条）

基準合計	施設長	主任生活相談員	生活相談員	主任支援員	支援員	看護師	栄養士	事務員	医師
11	1	1	1	1	3	1	1	1	1

○職員配置

（単位：名）

配置合計	施設長	主任生活相談員	生活相談員兼事務員	支援員兼生活相談員	主任支援員	支援員	デイ介護員兼支援員	看護師	栄養士	医師
16	<1>	1	[1]	1	1	6	1	2	1	<1>

※< >は嘱託 [ ]は兼務

## 12 入所者の状況（令和 2 年 3 月 31 日現在）

年度当初、44 名であった。新規入所者が 16 名、死亡退所が 2 名、希望退所が 10 名であったため、年度末現在入所者は 48 名である。

### (1) 入退所の状況

（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所			2		1	5		1		2		5	16
退所		1	1	3			1			3	1	2	12
現員数	44	43	44	41	42	47	46	47	47	46	45	48	
入所率	88%	86%	88%	82%	84%	94%	92%	94%	94%	92%	90%	96%	平均 90%

## (2) 介護認定者の状況

(単位：名)

事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
3	1	0	6	14	6	1	1	32

## (3) 外部介護サービス利用者数の状況

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
デイ利用者	183	187	185	139	183	199	198	207	205	195	90	173	2,144
訪問介護利用者	138	140	129	195	145	143	139	134	136	154	93	67	1,613
訪問看護利用者	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366

# 老人デイサービス事業

〔事業所名〕	長生園デイサービスセンター	
〔利用定員〕	18人	
〔所在地〕	八戸市大字是川字狹森 33 番地	
〔事業開始年月日〕	平成 13 年 4 月 1 日	生きがい事業活動支援通所事業
	平成 21 年 4 月 1 日	指定通所介護 指定介護予防通所介護事業
	平成 28 年 4 月 1 日	指定地域密着通所介護事業
	平成 28 年 10 月 1 日	通所型サービス事業 (介護予防通所介護相当)

## 1 事業運営の基本方針

- (1) 要介護状態等の利用者が可能な限りその居宅において、能力に応じて自立した日常生活が継続できるよう、必要な世話及び機能訓練を行い、社会的孤立感の解消と心身の機能の維持を図る。
- (2) 利用者の家族の身体的、精神的負担の軽減を図る。

### 【元年度重点目標及び新規取組事項の実施状況】

重点目標・新規取組事項	実施状況
開設した長生園居宅介護支援事業所と連携を密にし、利用者増に繋げる。	長生園居宅介護支援事業所（ケアプランセンター長生園）と連携を密にし、情報交換を随時行った結果、ケアプランセンターからの新規利用者は5名となった。 また、他の居宅介護支援事業所からの紹介による新規利用者は15名であった。 これにより、令和2年3月31日現在、登録者数は前年度より6名増の44名、利用延人数は、前年度比138%となり、利用者増に繋げることができた。
改装した機能訓練室を有効活用し、一人ひとりに応じた機能訓練メニューに基づき、効果的な訓練を実施する。	利用者のアセスメントやケース検討会議で話し合った内容をもとに、個別機能訓練計画書を作成し、個々の状態に応じた機能訓練を実施した。 平行棒による歩行訓練のほか、機能訓練室に設置したルームサイクル、バイク等の訓練器具を利用し、効果的な訓練を実施することで、利用者の疼痛緩和、可動域の維持・向上を図ることができた。 また、計画書を作成することにより、目標の設定と達成時期を明確化し、定期的に評価を行うことで、次の課題が明確になり、効果的な訓練を継続的に実施できる体制が整った。

## 2 利用者の処遇

### (1) サービス内容

- ①営業日：月曜日から土曜日までの週6日（但し、12月31日～1月3日休業）
- ②営業時間：午前8時15分から午後5時まで
- ③提供時間：午前9時30分から午後3時30分まで  
（冬期12月1日～2月28日：午前9時30分～午後3時）
- ④利用料：指定地域密着通所介護・通所型サービス利用者は厚生労働大臣が定める基準によるものとし、法定代理受領サービスの1割、もしくは一定以上所得者の場合は2割の額（介護保険負担割合証に定める割合の額）と食事代1日550円を徴収した。

## (2) 実施状況

### ①介護サービス

- ・利用者の基本情報（入浴、食事、排せつ、その他の介護及び機能訓練等や利用者の心身状況等）をフェースシート及びアセスメントシート等を用い、職員間で共有し、適切な介護サービスを提供した。
- ・月1回居宅介護支援事業所へモニタリング報告書を提出するなど、介護支援専門員と連携を密にし、情報共有を行ったほか、送迎時に家族と情報を共有し、利用者及び家族の意向に沿えるよう、個々の利用者のニーズに応じたサービスを提供した。

### ②入浴サービス

- ・利用者の体温及び血圧測定と体調確認を行い、状態に応じてシャワー浴や足浴を提供するなど、身体に負担が掛からない入浴サービスを提供した。
- ・身体状態に応じた特殊浴槽等の入浴設備を使用し、安全・快適な入浴サービスを提供した。9月はリンゴ湯、11月は菊湯、12月はみかん湯、1月はゆず湯等、季節ごとに趣のあるお風呂を提供し、心身のリラクゼーションを図った。

### ③日常生活訓練

- ・居宅サービス計画の内容に沿った介護計画書を作成したほか、月1回のケース検討会議において個々の目標を明確にし、目標達成に向けて日常生活動作の助言や訓練を行った。

### ④給食サービス

- ・年2回の嗜好調査や月1回のケース検討会議を実施したほか、食事摂取状態を確認し、個々の利用者の心身状態に応じた介護用食器、食形態での食事を提供した。
- ・バイキング食や季節に応じた行事食などを提供し、食欲の維持及び増進を図った。

### ⑤健康状態の確認

- ・利用者の体温、血圧測定を行い、利用者の体調を確認したほか、受診状況や内服薬等を確認し、体調不良等の早期発見に努めた。
- ・利用者の家族及び居宅介護支援事業所と情報交換を密にし、体調不良の早期対応等の健康管理を行った。

### ⑥送迎

- ・出発前点検を確実に実施し、利用者を安全に送迎した。
- ・利用者の身体状態及び機能を把握するとともに、自宅までのルート確認、注意事項等を職員間で共有し、身体に負担が掛からない送迎時間を設定し、送迎時の身体的負担を軽減した。
- ・利用者の状況や動作を考慮した介助方法を職員間で共有し、安全な乗降介助を行った。
- ・要介護状態の重度の方に対応できるよう、車椅子での乗車が可能な車輛を準備した。

### ⑦生活相談

- ・利用者や家族に対して、担当介護支援専門員と連携し、利用者の状態に応じた介護方法等についての相談及び助言を行った。

### ⑧レクリエーション活動

- ・フォトフレーム等の創作活動のほか、シナプソロジー等の脳トレーニングを実施し、達成感や自己有用感の向上を図り、認知機能の低下防止に努めた。
- ・キックボウリングやポケネット等の軽体操を実施し、心身機能の維持向上を図った。
- ・シーガルビューホテルでのお食事会や菜園作業、ショッピング等、季節感を感じられる外出行事を行ったほか、おやつ作りなどを企画・実施し、生活の質の向上を図った。

### ⑨口腔ケア

- ・食事前の嚥下体操や、食後の口腔ケアを実施し、口腔機能の維持向上を図った。

### ⑩機能訓練

- ・利用者のニーズに応じた訓練を実施できるよう、改装した機能訓練室にルームサイクルやリカンベントバイク等の訓練器具を設置した。
- ・平行棒や階段昇降を使用した歩行訓練、立ち上がり訓練を行う等、可能な限り居宅での日常

生活が継続できるように、生活空間を考慮した基本動作訓練メニューを作成し、効果的な訓練を実施することで、身体機能の維持向上を図った。

### 3 運営推進会議

利用者、市職員、地域の代表者に対し、提供しているサービス内容等を明らかにすることにより、地域との連携が確保され、かつ地域に開かれたサービスにすることで、サービスの質の確保・向上を図ることを目的とし、年2回開催した。

#### (1)運営推進会議委員

石橋 恒 則 (八戸市立是川公民館館長)  
 下 館 敏 (風張町内会会長)  
 後 村 武 久 (是川地区民生委員児童委員協議会会長)  
 大 坂 洋一郎 (利用者代表)  
 服 部 晃 子 (利用者家族代表)  
 八戸市職員又は地域高齢者支援センター職員

#### (2)開催日時・議題・出席者

開催日時	議 題	出 席 者
5月27日	(1) 利用者の状況及び活動状況報告 (2) 利用者・家族からの要望及び苦情について (3) ヒヤリハット・事故報告、職員研修状況について (4) 意見交換	是川・中居林地区高齢者支援センター 修光園 高奥佳代子 八戸市立是川公民館館長 石橋 恒則 是川地区民生委員児童委員協議会会長 後村 武久 風張町内会会長 下館 敏 利用者代表 大坂洋一郎 利用者家族代表 服部 晃子 長生園デイサービスセンター職員3名 計9名
11月19日	(1) 利用者の状況及び活動状況報告 (2) 利用者・家族からの要望及び苦情について (3) ヒヤリハット・事故報告、職員研修状況について (4) 意見交換	八戸市介護保険課 松井 純 是川・中居林地区高齢者支援センター 修光園 林崎絵里香 是川地区民生委員児童委員協議会会長 後村 武久 風張町内会会長 下館 敏 利用者代表 大坂洋一郎 利用者家族代表 服部 晃子 長生園デイサービスセンター職員3名 計9名

### 3 苦情への対応及び虐待防止

#### (1) 苦情への対応

長生園同様に、「施設利用者等の苦情解決制度実施要綱」に基づき、責任者、受付担当者及び第三者委員を設置し、苦情解決に関する体制を整備するとともに、施設内に苦情解決の仕組みを掲示し、利用者及び家族等への周知を図った。

また、前年度に引き続き、第三者委員への報告会(現況報告・情報交換等)を実施した。

令和元年度苦情受付数 0件

○第三者委員

下 舘 敏 (風張町内会長)

野 澤 壽 代 (是川地区民生委員主任児童委員)

前 田 恵美子 (長者地区・天狗沢・番屋・鴨平・土橋民生委員)

(2) 虐待防止

長生園同様に、「長生園虐待防止委員会設置要綱」に基づき、虐待防止に関する体制を整備した。

また、利用者の虐待防止等について、虐待防止のための自己評価と検討委員会を年4回、内部研修を年2回開催し、利用者の心身の安全と尊厳の保持に努めた。

4 施設サービス評価

事業所が行うサービスについて、自己評価を行い、改善すべき課題を明確にし、サービスの質の向上を図った。

5 安全管理

(1) 施設の設備機器について、委託業者による保守点検のほか、自主点検による不良個所の早期発見に努め、適切な修繕等を実施した。

(2) サービス提供前に、トイレや洗面所など施設内の環境を整備したほか、シルバーカー等の福祉用具、簡易式ベッド、機能訓練器具等の備品の安全確認を行った。

(3) 感染症対策委員会で作成した年間スケジュールを基に、職員及び利用者に対して、食中毒・ノロウイルス・インフルエンザ等の感染予防に関するDVDを視聴したほか、内部研修や手洗い指導を計画的に実施した。

(4) 送迎車輛の日常点検や定期点検を実施し、不良箇所の早期発見及び適切な修繕等を実施した。

(5) 送迎時のルートや危険箇所等の状況把握を十分に行ったほか、職員の体調確認を行い、交通事故の防止に努めた。

(6) 利用者の緊急連絡先を更新するとともに、危機管理マニュアルを再確認し、事故や災害等に備えた。

(7) 事故の発生はなかったが、ヒヤリハットについての事故防止委員会を定期的で開催し、事故予防に努めた。

(8) 消防訓練の計画を立て、養護老人ホームと合同で消防訓練を年2回実施した。

(9) 地震、土砂災害・風水害発生時の対応マニュアルに基づいた防災訓練の計画を立て、防災訓練を実施した。

また、防災についてのビデオ上映会を開催し、災害時の対応や避難経路の確認を行った。

(10) 3日分の非常食(食料と水・衛生用品を備蓄し、災害に備えた。

(11) 個人情報については、利用者や家族に対して利用目的を明確にして同意を得、使用にあたっては細心の注意を払い、必要最低限の範囲で使用した。

6 地域貢献・地域社会との交流等

(1) ボランティアの受け入れ

八戸市シニアはつらつポイント事業 なし

(2) 実習生の受け入れ

所 属 等	実 習 内 容	期 間	人 数
京都女子大学	介護体験	8月19日～8月21日	1名
		合 計	1名

(3) 地域との交流・連携等

○利用者の所外交流

月	日	実 施 内 容
12	7	陸上自衛隊八戸駐屯地曹友会訪問 (餅つき交流会)

○是川地区介護予防教室

月	日	実 施 内 容
4	24	是川地区介護予防教室(是川団地集会所)
5	14	是川地区介護予防教室(是川団地集会所)
6	26	是川地区介護予防教室(是川団地集会所)
7	24	是川地区介護予防教室(是川団地集会所)
8	28	是川地区介護予防教室(是川団地集会所)
9	25	是川地区介護予防教室(是川団地集会所)
10	23	是川地区介護予防教室(是川団地集会所)
11	27	是川地区介護予防教室(是川団地集会所)
12	25	是川地区介護予防教室(是川団地集会所)
1	22	是川地区介護予防教室(是川団地集会所)
2	26	是川地区介護予防教室(是川団地集会所)

○石手洗地区介護予防教室

月	日	実 施 内 容
4	24	石手洗地区介護予防教室(石手洗生活館)

7 年間行事の実施状況

月	日	内 容
4	1～ 7	ポケネット大会
	8～20	壁画制作
	22・23	脳トレ
	24～26	お花見(八戸市庁展望回廊)
	24～26	お花見(市庁展望)
	27	脳トレ
5	29・30	キックボウリング
	1～ 4	キックボウリング
	7～18	制作活動(ちぎり絵)
	19	第1回運営推進会議
	20～25	おやつ作り(あんこカップケーキ)
6	27～28	脳トレ
	31	菜園開始(ミニトマト・メロン・じゃがいも)
	1～ 8	七夕飾り制作
	10～15	ゲーム大会
	24～30	七夕飾り制作
	7	1～ 6
8～13		制作活動(紙で作れるエコバック)
15～20		制作活動(8月カレンダー)
22・23・27		体を使って遊ぼう
24～26		シーガルビューホテル
29～31		制作活動(プリーツハンガー)

8	1～3	制作活動(プリーツハンガー)
8	5～10	体を使って遊ぼう
	12～17	制作活動(夏祭りの灯籠)
	19・20・24	制作活動(9月のカレンダー)
	21～23	ショッピング(イオン田向店)
	26～31	制作活動(壁面飾り)
9	2～7	風船バレー
	9・13・14	脳トレ
	10～12	おやつ作り(いももち)
	16～21	制作活動(粘土細工)
	23～30	制作活動(壁面飾り)
10	1～5	制作活動(壁面飾り)
	14・18・19	脳トレ
	15～17	ショッピング(道の駅なんごう)
	21～26	がっほり稼いでゲーム
	28～31	制作活動(壁面飾り)
11	1～9	もみじの壁画制作
	11～16	制作活動(クリスマス飾り)・手洗い指導
	18～23	干し柿づくり
	19	第2回運営推進会議
	25～30	制作活動(クリスマス飾り)
12	2～14	制作活動(干支の置物)
	16～21	制作活動(フォトフレーム)
	23・24・28	制作活動(1月のカレンダー)
	30	脳トレ
1	4	脳トレ
	6・10・11	かるた大会
	7～9	初詣(櫛引八幡宮)
	13～18	お年玉大作戦
	20～22	制作活動(2月のカレンダー)
	23～25	制作活動(つるし飾り)
	27～31	ポケネット大会
2	1・7・8	脳トレ
	3～6	節分会
	10～15	キックボウリング
	17・21・22	脳トレ
	18～20	おやつ作り(わらび餅)
	24～29	制作活動(3月のカレンダー)
3	2～7	天国と地獄ゲーム
	9～14	制作活動(壁面飾り)
	16・17・21	シナプソロジー
	18～20	カラオケ大会
	23～28	制作活動(壁面飾り)
	30・31	シナプソロジー

○定期的に行ったもの

誕生会、バイキング食、各種レクリエーション活動、体験利用

## 8 職員研修の実施状況

○内部研修

月	日	研修内容	人数
4	15	第1回中堅職員研修	1名
7	29	水分補給について	4名
8	27	結核について	1名
10	30	聴覚障害について-知識編-(1回目)	10名
11	29	聴覚障害について-対応編-(2回目)	10名
11	29	虐待防止について	7名
12	18	第2回中堅職員研修	1名
	26	不審者対応について	4名
1	19	実践研修報告会	4名
	28	口腔・嚥下について	4名
2	3	感染症対策について	7名
3	16	認知症タイプ別ケアについて	5名
	26	高齢者虐待防止について	6名
合 計			64名

○外部研修

月	日	研修内容	開催地	人数
5	31	八戸地域介護サービス協議会	八戸市	3名
6	29	デイサービスセンター職員スキルアップ研修	青森市	1名
7	2・3	階層別研修「初任者のためのソーシャルスキルアップ」研修	八戸市	2名
	4	介護職員処遇改善加算取得セミナー	八戸市	1名
	31	腰痛予防対策講習会	青森市	1名
8	20	チームワーク向上プログラム出前講座	八戸市	1名
9	6	東北ブロック老人福祉施設研究会	仙台市	1名
	17	社会福祉施設看護職員研修	青森市	1名
	18	介護スキルアップ研修	青森市	1名
	24	介護認証取得セミナー	青森市	1名
10	2・15	介護認証取得セミナー	青森市	1名
	2	介護サービス情報公表制度「10の研修テーマ」に係る研修会	青森市	1名
11	6・7	全国社会福祉事業団協議会 第53回全国社会福祉事業団大会	徳島市	1名
	13	施設における感染症予防対策について研修会	八戸市	1名
	21	介護技術レベルアップ研修会	青森市	1名
	22	事務部・看護部会意見交換会	八戸市	2名
	30	介護過程の理解	八戸市	1名
1	17	高齢者虐待防止研修会	八戸市	1名
2	3	普通救命講習	八戸市	1名
合 計				23名

9 業務体制（利用定員 18 名）

○人員に関する配置基準

（指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準第 20 条・第 21 条）

基準合計	管理者	生活相談員	介護員	看護師	機能訓練指導員
5	1	1	1	1	1

○職員配置

（単位：名）

合計	管理者	生活相談員兼介護員	介護員	介護員 養護支援員兼務	看護師 兼機能訓練指導員	看護師 養護看護師兼務	事務員兼介護員
13	[1]	[3]	4	[1]	[2]	[1]	[1]

※ [ ] は兼務

10 利用者の状況（令和 2 年 3 月 31 日現在）

区分		計	月平均	1 日平均	摘要	
延実施日数		310 日	—	—		
延利用人数		3,770 名	314 名	12.2 名	〔延利用人員内訳〕	
サービス別 利用人員数	入浴	3,398 名	283 名	10.9 名	地域密着型	2,896 名 76.8%
	給食	3,770 名	314 名	12.2 名	総合事業	874 名 23.2%
	生活指導	3,770 名	314 名	12.2 名		
	健康状態確認	3,770 名	314 名	12.2 名		
	日常動作訓練	3,770 名	314 名	12.2 名		
	送迎	2,525 名	210 名	8.1 名		

## ○月別利用者状況（前年度比）（令和2年3月31日現在）

（単位：名）

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
元年度稼働日数		26	27	25	27	27	25	27	26	25	24	25	26	310
地域密着型 利用延人数	30年度	172	180	182	188	188	182	215	203	183	191	201	213	2,298
	元年度	214	249	243	254	265	244	255	259	246	224	201	242	2,896
総合事業 利用延人数	30年度	22	21	23	29	31	34	40	49	40	43	42	54	428
	元年度	65	79	68	79	72	76	77	72	75	72	67	72	874
合計利用 延人数	30年度	194	201	205	217	219	216	255	252	223	234	243	267	2,726
	元年度	279	328	311	333	337	320	332	331	321	296	268	314	3,770
前年比（%）		144	163	152	153	154	148	130	131	144	126	110	118	138



# 居宅介護支援事業

〔事業所名〕 ケアプランセンター長生園  
 〔所在地〕 八戸市大字是川字狹森 33 番地  
 〔事業開始年月日〕 平成 31 年 4 月 1 日 指定居宅介護支援事業

## 1 事業運営の基本方針

- (1) 利用者が可能な限りその居宅においてその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう利用者の選択に基づき、多様なサービスを総合的に提供する。
- (2) 利用者の意思や人格を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービスを提供する。

### 【元年度の重点目標・新規取組事項の実施状況】

重点目標	実施状況
新たに開設した居宅介護支援事業所を関係機関及び地域団体等へPRするため、広報誌等を作成・配布し、利用者の獲得を目指す。	是川・中居林地区高齢者支援センターや八戸市立市民病院地域医療連携室等のほか、是川地区民生委員児童委員協議会において、広報誌や事業所のパンフレットを配布し、当事業所をPRした。 また、青森県介護支援専門員協会八戸支部主催の研修会に積極的に参加し、参加者間のネットワークの構築に努め、要支援8名、要介護17名、計23名の新規利用者を獲得することができた。
地域包括支援センター等の関係機関との連携を密にし、地域の福祉ニーズにあったケアマネジメントに努める。	八戸市の地域包括支援センター及び是川・中居林地区高齢者支援センター主催の地域ケア会議（7・8・10・11月開催）や介護予防教室（毎月開催）に参加し、関係機関との連携を図った。 また、令和元年9月からスタートした是川地区住民主催の「あおぞら市」に設置される「よろず相談コーナー」に毎月1回相談員として参加し、高齢化率が高い是川地区の福祉ニーズの把握に努めた。

## 2 事業内容

- (1) 居宅サービス計画（ケアプラン）の作成
- (2) 介護予防サービス支援計画の作成
- (3) 他事業者及び関係機関との連絡調整
- (4) 要介護認定調査
- (5) 要介護認定の申請手続き及び更新認定の申請手続き
- (6) 介護サービスの利用相談及び情報提供

## 3 苦情への対応

「施設利用者等の苦情解決制度実施要綱」に準じて、苦情解決に関する体制を整備した。

令和元年度苦情受付数 0件

#### 4 サービス評価

提供サービスについて自己評価を行い、改善すべき課題を明確にし、サービスの質の向上に努めた。

また、八戸市による介護サービス事業者等に対する実地指導を受け、指摘事項はなかった。

#### 5 職員研修の実施状況

##### ○内部研修

月	日	研 修 内 容	人数
10	30	聴覚障害について-知識編- (1回目)	1名
11	29	聴覚障害について-対応編- (2回目)	1名
1	19	実践研修報告会	1名
合 計			延3名

##### ○外部研修

月	日	研 修 内 容	開催地	人数
5	10	八戸地域介護支援専門員協議会総会・研修会	八戸市	1名
6	29	介護過程の大切さの理解	八戸市	1名
7	19	是川地区地域個別ケア会議	八戸市	1名
	24	認定調査員等研修会	八戸市	1名
9	11	介護予防ケアマネジメント研修会	青森市	1名
10	2	病床機能転換専門研修会	八戸市	1名
11	12・13・19・ 21・22・28・29	主任介護支援専門員研修	青森市	7名
12	2・6・9・10	主任介護支援専門員研修	青森市	4名
	4	認定調査現認者研修	八戸市	1名
	14	住み慣れた地域で生活を考える～ワークショップ～	八戸市	1名
1	25	八戸市医療、介護の多職種連携研修会	八戸市	1名
2	3	青森県介護予防支援従事者研修会	青森市	1名
	12	八戸市医療、介護の多職種意見交換会	八戸市	1名
合 計				22名

#### 6 業務体制

合 計	管理者兼介護支援専門員
1	1

#### 7 利用者の状況 (令和2年3月31日現在)

(単位：名)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
介護保険	2	4	5	8	8	8	9	9	9	12	14	15	103
予防マネジメント	1	1	0	0	0	1	1	1	2	2	3	7	19
認定調査	5	5	8	10	10	11	5	5	5	5	5	5	79

# 浩々学園

〔施設の種類〕	児童養護施設
〔入所定員〕	35人（暫定定員30人）
〔所在地〕	八戸市根城七丁目8番46号
〔建設年月日〕	昭和47年3月31日
〔事業開始年月日〕	平成21年4月1日
〔施設の概要〕	敷地 3,564.19㎡
	建物 鉄筋コンクリート造平家建
	延床面積 762.27㎡
	附属建物 物置 20.15㎡

## 1 事業運営の基本方針

保護者のいない児童、虐待されている児童、その他環境上養護を要する児童を入所させて、安定した生活環境を整えるとともに、生活指導、学習指導、職業指導及び家庭環境の調整を行いつつ児童を養育することにより、児童の心身の健やかな成長とその自立を支援する。

### 【元年度重点目標及び新規取組事項の実施状況】

重点目標・新規取組事項	実 施 状 況
<p>県が家庭的養護推進計画（27年3月）を「新しい社会的養育ビジョン」に基づいて全面的に見直すこととしたことから、今後の浩々学園のあり方について、県の方針に従い、8月を目途に中・長期計画を策定する。</p>	<p>研修への参加のほか、他の児童養護施設との意見交換及び園内において研修を実施し、今後の浩々学園のあり方について検討を重ねた。</p> <p>また、8月末には、分園型小規模グループケア開設等を内容とする令和2年度から10ヶ年の「児童養護施設推進計画」を県に提出した。</p>
<p>将来をよりよく生きていくため、学齢別グループ行動や調理実習などの生活体験の場を充実させるほか、今年度作成した「浩々学園生きる教育のための指針」をもとに、年齢別に応じ、性教育を含めた生きるための教育を職員でチームを作り実施していく。</p>	<p>学齢別グループ行動の開始から5年が経ち、公共交通機関の利用に躊躇していた子どもたちも自分で時刻表を見るなどして自分から行動できるようになってきた。</p> <p>また、調理実習では自分たちの作りたい料理を提案するなど、メニューの幅が広がってきた。</p> <p>「浩々学園生きる教育のための指針」を基に、日常の支援の中で人との距離、正しい感情の表出を中心に指導を行った。</p> <p>性教育については、学年別に座談会を行いプライベートゾーンや適切な距離などについて、児童の理解を深めるための学習会を行った。</p>
<p>子どもたちの抱える問題が複雑化するなかで、適切なアセスメントを行い、子どもの支援につなげていく。</p>	<p>昨年度作成したアセスメントシートを使用し、年度当初に自立支援計画を作成することにより、常に子どもの最新情報を整理しながら支援につなげることができた。</p> <p>また、入所時においてもアセスメントシートを活用し、新入所児童の概要整理を行ったことから、入所後の対応をスムーズに行うことができた。</p>

## 2 入所者の処遇

### (1) 給食管理

給食は、年に1回の嗜好調査を実施したほか、2週間ごとに季節の食材を取り入れた献立表の作成など魅力ある食事の提供に努めた。

### (2) 生活支援等

- ① 衣料は、各自の状況により必要に応じて支給し、また、その補修洗濯に留意し、常に被服、寝具、下着類の衛生的な着用に努めた。
- ② 生活指導については、規則正しい生活の習慣をつけられるように留意し、身体の諸機能、知能及び情操等の発達を促すとともに、将来自立した生活を営むことができるよう買物、調理実習などを経験させた。
- ③ テレビ、楽器、遊具、運動用具及び図書等を備え付けるほか、年中行事として、夏祭り、クリスマス会、その他レクリエーションなどを催して入所児の健全育成に努めた。
- ④ 学習指導員を配置し、入所児童の適正、能力等に応じた学習支援を行うとともに、職業指導について、児童の在籍する学校と連携し、適切な相談、助言、情報等の提供に努めた。
- ⑤ 児童相談所と連携して家庭との連絡調整を行い、家庭への一時帰宅など、段階を踏みながら親子関係の再構築を図った。

また、一時帰宅時の様子や園内での様子を伝え合い、児童の生活環境の調整に努めた。高校卒業を迎える児童に対しては、就職支援、住宅支援などの自立支援を行った。退所後においても家庭引取り、自立に限らず家庭訪問、電話相談などを行った。

## 3 健康管理

- (1) 常に身体の清潔に留意し、週3回以上の日を定めて、身体に支障がない限り入浴させるほか、シャワーについては、随時使用させた。
- (2) 健康診断は、年2回内科検診、歯科検診を行い、異常がある児童については、医師の指示に従い受診させた。

## 4 苦情への対応及び虐待防止

### (1) 苦情への対応

「施設利用者等の苦情解決制度実施要綱」に基づき、責任者、受付担当者及び第三者委員を設置し、苦情解決に関する体制を整備するとともに、施設内に苦情解決の仕組みを掲示し、児童等への周知を図った。

また、前年度に引き続き、第三者委員への報告会（現況報告・情報交換）を実施した。

令和元年度苦情受付数 1件

### (2) 虐待防止

「浩々学園虐待防止対応要綱」に基づき、責任者、受付担当者及び第三者委員を設置し、虐待防止に関する体制を整備した。

#### ○第三者委員

小 松 史 明 （元小学校校長）  
鈴 木 秀 世 （元浩々学園園長）  
赤 石 和 枝 （元小学校校長）

## 5 施設サービス評価

- (1) 入所児童の健全育成のため、日常の生活指導・施設の機能等について自己評価し、改善すべき課題を明確にして、今後の施設運営の質の向上を図った。改善すべき事項として、理念や支援内容などの明確化と説明強化、性教育の学習会の実施が挙げられた。
- (2) 第三者評価を受審した。改善すべき事項として新ビジョンを基にした中・長期計画の立案、目標、基本方針の明文化や発達に応じた性教育のカリキュラム作成などが挙げられた。
- (3) 青森県東青地域県民局による社会福祉施設に係る指導監査を受け、指摘事項については改善を図った。

## 6 安全管理

- (1) 施設・整備の自主定期点検と保守管理に努めた。
- (2) 消防計画に基づき、年2回の総合防災訓練と毎月1回の避難訓練を実施した。
- (3) 防災機器、厨房ガス器具などの定期点検、整備を実施した。
- (4) 警察官立会いのもと、刺股を使用した不審者対策避難訓練を実施した。

## 7 地域貢献・地域との交流等

### (1) ボランティアの受け入れ

屋外活動や慰問活動、子どもの遊び相手などボランティアの受け入れを積極的に行い、外部との交流に努めた。

所 属 等	ボランティア内容	期 間	人 数
エステラス株式会社	理容	4月 9日	8名
個人	児童との交流	4月21日	10名
個人	環境美化活動	7月 8日	1名
個人	環境美化活動	7月14日	1名
個人	環境美化活動	7月16日	1名
鷗盟大学38期ボランティアグループ	環境美化活動	8月 2日	10名
個人	児童との交流	9月22日	1名
エステラス株式会社	理容	9月27日	9名
個人	児童との交流	10月22日	1名
V i c ウーマンの会	環境美化活動	10月30日	6名
八戸菓業青年会	お菓子作り	12月 4日	8名
陸上自衛隊 曹友会	もちつき	12月 7日	18名
日米友好クラブ三沢	児童との交流	1月12日	19名
合 計			93名

### (2) 実習生の受け入れ

保育士及び社会福祉士等の現場実習を受け入れ、福祉の人材育成に努めた。

所 属 等	実 習 内 容	期 間	人 数
青森中央短期大学	保育士	5月13日～5月24日	2名
仙台白百合女子大学	保育士	5月13日～5月24日	1名
仙台青葉学院短期大学	保育士	5月27日～6月 7日	3名
東北福祉大学	社会福祉士	6月10日～7月11日	1名
東北福祉大学	社会福祉士	7月 1日～8月 2日	1名
仙台医療秘書福祉専門学校	保育士	7月 1日～7月12日	1名

津田塾大学	介護等体験	7月29日～8月2日	1名
日本福祉大学	社会福祉士	8月1日～8月30日	1名
青森県立保健大学	社会福祉士	8月1日～8月16日	2名
八戸学院大学	社会福祉士	8月6日～9月6日	1名
東北女子大学	介護等体験	8月19日～8月23日	1名
岩手県立大学	社会福祉士	8月26日～9月13日	1名
聖和学園短期大学	保育士	9月2日～9月13日	2名
青森県立保健大学	社会福祉士	9月5日～9月20日	2名
八戸学院大学	介護等体験	9月16日～9月20日	1名
八戸学院大学	介護等体験	10月14日～10月18日	1名
仙台幼児保育専門学校	保育士	10月15日～10月26日	1名
八戸学院大学	介護等体験	10月28日～11月1日	1名
盛岡大学短期大学	保育士	11月01日～11月12日	2名
岩手県立大学	社会福祉士	11月05日～11月18日	1名
八戸学院大学	介護等体験	11月11日～11月15日	1名
盛岡大学短期大学	保育士	11月15日～11月26日	2名
盛岡大学短期大学	保育士	11月29日～12月10日	2名
修紅短期大学	保育士	8月17日～8月31日	1名
青森県立保健大学	社会福祉士	8月20日～8月24日	3名
宮城学院女子大学	保育士	8月20日～8月31日	1名
八戸学院大学短期大学	保育士	1月27日～2月6日	4名
合 計			41名

(3) 地域との交流・連携等

夏祭り等の行事に地域住民を招待したほか、地域の夏祭りなど、スポーツや文化活動へ積極的に参加し、心身の健全な育成を図った。

月	日	内 容	場 所
5	31	情報交換会（八戸児童相談所・七戸児童相談所）	浩々学園
7	2	三戸町要保護児童対策協議会実務者会議職員派遣	三戸町役場
	6	自然体験教室招待	カワヨグリーン牧場
	8	情報交換会（根城中学校）	根城中学校
	20	日米友好クラブ小川原湖招待	小川原湖
	20	南鹿島子ども会夏祭り	南鹿島公園
8	1	三社大祭見学・参加	（株）吉田産業前
	2	個別ケース会議（三戸町）	三戸町
	9	夏祭り（地域住民参加人数83名）	浩々学園
9	30	情報交換会（八戸児童相談所・七戸児童相談所）	浩々学園
10	1	青森県入所児童間の性的問題行動対応マニュアルに係る意見交換会	青森県庁
		収穫祭（地域住民参加人数1名）	浩々学園
12	1	令和元年度感謝の集い	八戸市
	7	陸上自衛隊曹友会餅つき交流会	浩々学園
2	26	情報交換会（八戸児童相談所・七戸児童相談所）	浩々学園
3	27	合同情報交換会（根城小学校・根城中学校）	根城中学校
年10回		三水会（根城田面木地区青少年生活指導者協議会）	根城公民館

(4) 里親支援専門相談員を配置し、県内の里親、里親会の支援に当たった。

里親からの電話相談件数 4件

月	日	内 容	場 所
4	26	県南施設里親サロン（ニコニコサロン）	十和田市
5	9	県南里親サロン（ぽかぽかサロン）	八戸市
	10	里親支援機関事業実施に係る打ち合わせ	青森県庁
	26	県南里親会総会	八戸市
7	17	県南施設里親サロン（ニコニコサロン）	三沢市
	11	県南里親サロン（ぽかぽかサロン）	八戸市
	27	里親普及促進活動リーフレット配布	三沢市
	13	里親連合会家族交流会「りんごっこ家族レクリエーション」スタッフ派遣	七戸町
	21	県南里親会親子レクリエーションスタッフ派遣	八戸市
9	8	県南里親研修会・座談会スタッフ派遣	八戸市
	12	県南里親サロン（ぽかぽかサロン）	八戸市
	15	青森県里親連合会支援員研修スタッフ派遣	青森市
	19	県南施設里親サロン（ニコニコサロン）	十和田市
10	21	青森県養育里親・養子縁組里親研修スタッフ派遣	八戸市
	25	青森県養育里親更新研修スタッフ派遣	三戸地方保健所
	31	青森県養育里親・養子縁組里親研修スタッフ派遣	八戸市
11	7	青森県養育里親・養子縁組里親研修スタッフ派遣	八戸市・十和田市
	9	県南施設里親サロン（ニコニコサロン）	十和田市
	10	県南里親リング狩りスタッフ派遣	八戸市
	14	県南里親サロン（ぽかぽかサロン）	八戸市
	23	県南施設里親サロン（ニコニコサロン）	三沢市
12	6	ファミリーホーム訪問支援	六戸町
	12	県南里親サロン（ぽかぽかサロン）	八戸市
	15	ファミリーホーム訪問支援	むつ市
2	13	県南里親サロン（ぽかぽかサロン）	八戸市
	17	ファミリーホーム訪問支援	階上町
	18	ファミリーホーム訪問支援	新郷村
3	12	県南里親サロン（ぽかぽかサロン）	八戸市

8 年間行事の実施状況

月	日	内 容	場 所
4	3	進級祝い	浩々学園
5	1	児童福祉週間に係る行事	ラウンド1 盛岡
	27	ごみゼロ運動	学園から根城小学校・水道公園周辺
	19	学齢別グループ行動（幼児）	八戸ポータルミュージアム こどもはっち
7	7	ちびっこマラソン大会	東運動公園
	26	青森県児童養護施設交流会	青森市民体育館
8	1	三社大祭見学・参加	吉田産業(株)前
	9	夏祭り	浩々学園

	13	流しそうめん	浩々学園
	21	漢字検定	浩々学園
9	23	学齢別グループ行動（小学生低学年）	八戸ショッピングセンターラピア
	29	調理実習	浩々学園
10	6	収穫祭	浩々学園
12	7	自立に向けた勉強会	青森市
	14	学齢別グループ行動（小学生高学年）	サウンドハウス ピエロ
2	29	調理実習	浩々学園
	3	豆まき	浩々学園
	24	卒園式・卒園を祝う会	浩々学園・きざん八戸
3	3	ひなまつり	浩々学園

## 9 職員研修の実施状況

### ○内部研修

月	日	研 修 内 容	人 数
4	15	第1回中堅職員研修「人事評価」	3名
6	26	浩々学園職員研修 グループ A 「行動の定義と分類・わかりやすいコミュニケーション」	6名
		7	
7	24	浩々学園職員研修 グループ A 「肯定的な注目を与える・好ましくない行動を減らす」	6名
8	27	浩々学園職員研修 グループ A 「効果的な指示の出し方」	6名
9	26	浩々学園職員研修 グループ A 「制限を設ける」	6名
10	23	浩々学園職員研修 グループ B 「行動の定義と分類・わかりやすいコミュニケーション」	6名
11	18～22	事業団交換研修	1名
	27	浩々学園職員研修 グループ B 「肯定的な注目を与える・好ましくない行動を減らす」	6名
12	18	第2回中堅職員研修「人事評価」	3名
	24	浩々学園職員研修 グループ B 「効果的な指示の出し方」	6名
1	19	実践研修報告会	5名
	24	浩々学園職員研修 グループ B 「制限を設ける」	6名
合 計			75名

### ○外部研修

月	日	研 修 内 容	開催地	人 数
4	21	青森県里親連合会総会及び子育て支援フォーラム	青森市	1名
5	27	東北ブロック児童養護施設協議会総会	盛岡市	1名
	20	児童養護施設新任職員研修	八戸市	2名
6	7	児童養護施設内の性問題への対応 ～小規模化・地域分散化の中で～	東京都	1名
	13. 14	第67回東北ブロック児童養護施設研究協議会	仙台市	3名
7	4・5	里親支援実践報告会	東京都	1名
	7～9	S B I 児童養護施設職員研修	東京都	1名
9	9・10	青森県児童養護施設協議会県外先進施設視察研修	盛岡市	2名

	15	青森県里親連合会里親支援員研修会	青森市	1名
	18・19	東北ブロック児童養護施設新任職員研修	仙北市	2名
11	7	青森県児童養護施設協議会研修会	青森市	4名
	23・24	S B I 児童養護施設職員研修	東京都	1名
12	1	一人一人を生かす特別支援教育	八戸市	2名
	5	子ども虐待要保護児童対策研修会 施設の子どもたちの自立について考える	青森市	2名
	11～13	第34回全国秋季セミナー	東京都	1名
	13	社会福祉施設における就労支援担当養成研修	八戸市	2名
2	3・4	指導者を育成する研修	東京都	1名
合 計				28名

10 寄附の状況

(単位：円)

寄附申込者	寄附目的・品名	金額	受領年月日
吉田裕	現金	5,000	平成31年 4月12日
青森県共同募金会	サッカー観戦チケット	4,800	平成31年 4月22日
八戸北ロータリークラブ	社会見学とマナー勉強会	73,000	令和 元年 7月30日
吉田裕	現金	10,000	令和 元年 8月 6日
トヨカト労働組合 八戸沼館店	現金	12,100	令和 元年 8月14日
徳洲会	コミック本4冊	2,056	令和 元年 9月12日
日本児童養護施設財団	図書3冊	3,000	令和 元年11月18日
(株)第一ホーム	アダチ文具券	50,000	令和 元年12月 2日
川村 和雄	現金	100,000	令和 元年12月 3日
(有)大山伝法商店	現金	100,000	令和 元年12月12日
N T T ドコモ	現金	50,000	令和 元年12月13日
八戸サッシ工業	ニンテンドースイッチ	86,000	令和 元年12月23日
匿名	図書34冊	29,952	令和 元年12月23日
吉田 裕	現金	10,000	令和 元年12月24日
フルタイムシステム八戸	クリスマスプレゼント	72,000	令和 元年12月24日
根城 隆幸	現金	50,000	令和 元年12月27日
山下美実	現金	100,000	令和 元年12月30日
(株)川端重機興業	焼き肉招待	58,900	令和 2年 1月 6日
日米友好クラブ 吉田日寿	商品券	20,000	令和 2年 1月12日
トヨカト労働組合 八戸沼館店	現金	11,100	令和 2年 1月17日
(株)竹正工務店 竹内 正弘	現金	300,000	令和 2年 1月30日
少年画報社	本1冊	759	令和 2年 3月 2日
東北遊戯機商業協同組合	現金	100,000	令和 2年 3月11日
中部遊戯機商業協同組合	現金	50,000	令和 2年 3月11日
八戸サッシ工業	お寿司招待	93,000	令和 2年 3月15日
八戸パークホテル	食事招待	93,500	令和 2年 3月23日
和島の会 会長 和島勇人 ほか	食材、菓子、遊具等	64件	平成31年 4月1日～ 令和 2年 3月31日
合計 90件			

11 業務体制（暫定定員 30 人）

○人員に関する配置基準（児童福祉施設の設備及び運営に関する基準第 42 条）

基準合計	施設長	保育士 児童指導員	個別対応職員	家庭支援専門相談員	調理員	嘱託医
16	1	8	1	1	4	(1)

○職員配置

（単位：名）

配置合計	施設長	保育士 児童指導員	個別対応職員	家庭支援専門相談員	里親支援専門相談員	事務員	嘱託医	夜間専門員	児童指導員 (学習指導担当)	調理員	用務員
25	1	8	1	1	1	1	<2>	2	3	4	1

※< >は嘱託

12 入所者の状況（令和 2 年 3 月 31 日現在）

(1) 学年別状況

（単位：名）

区分	幼児	小学生	中学生	高校生	その他	計
男子	1	5	3	4		13
女子	3	3	4	1	1	12
計	4	8	7	5	1	25

(2) 入所理由

（単位：名）

性別	理由	父母死亡	父母行方不明	父母離婚	父母不和	父母拘束	父母入院	父母就労	父母精神障害	父母放任怠惰	父母虐待酷使	棄児	父母養育拒否	経済的理由	合計
	男		1						2	5	5				
女								5	4	3					12
計		1						7	9	8					25

## (3) 令和元年度退所理由

(単位：名)

	家庭引取	就業	進学	措置変更	計
男		1		1	2
女	1	1			2
計	1	2		1	4

## (4) 月初日別入所状況

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	22	21	21	21	21	21	24	24	24	25	27	27



# 小 菊 荘

〔施設の種類〕	母子生活支援施設
〔入所定員〕	定員 17 世帯
〔所在地〕	八戸市根城五丁目 4 番 9 号
〔建設年月日〕	昭和 48 年 3 月 31 日(新築移転)
〔設置認可年月日〕	平成 21 年 4 月 1 日(八戸市からの施設譲与による)
〔施設の概要〕	敷 地 1,570.48 m <sup>2</sup> 建 物 鉄筋コンクリート造 2 階建 延床面積 1,104.72 m <sup>2</sup> 付属建物 物置 54.00 m <sup>2</sup>

## 1 事業運営の基本方針

- (1) 母子を共に入所させ、その私生活を尊重しながら自立を促すため、家庭や稼働状況を踏まえながら就労、家庭生活、児童の養育に関する相談に応じ、助言、指導を行うとともに、関係機関との連絡調整等の支援を行う。
- (2) 必要に応じ地域住民や地域団体等との交流に努める。

### 【元年度重点目標及び新規取組事項の実施状況】

重点目標・新規取組事項	実 施 状 況
生活困窮等の経済的理由による入所者が、たすけあい資金やフードバンク等の社会資源を活用し、安定した生活を送れるよう支援の充実を図る。	生活困窮等の経済的理由による入所者への初期支援として、引き続き生活用品や家電等の貸出を行った。 また、社会資源を活用し、安定した生活を送れるよう支援の充実を図った。 フードバンクの活用については、入所者の意向が反映されるようアンケートを実施し、可能な限り希望商品、数量を届けることができるよう物品提供先と協議を行った。
県内外の福祉事務所、関係機関相談窓口等へのPRを継続する。また、施設の利用促進を図るため情報提供や説明を行う。	県内外の福祉事務所、関係機関等へのPR活動として、パンフレットを送付した。 また、措置機関へは入所者の近況報告書を送付し、情報の共有を図るとともに、支援内容の説明を継続し、施設に対する理解を得られるよう努めた。
入所者が快適に暮らせるように引き続き環境整備に努める。また、浴室を増設し、入所母子がそれぞれの生活に合わせて入浴できるようにするとともに、感染症が発生した際に浴室を使い分けできるようにする。	老朽化による不具合等については、迅速に対応し、環境整備に努めた。 また、浴室を増設したことにより、入所母子がそれぞれの生活リズムに合わせて入浴できるようになり、さらに感染症発生時には、浴室の使い分けができるようになった。

## 2 入所者の処遇

### (1) 母親への支援

- ① 自立に向けて、各種求人情報を提供するとともに、入所者の希望を考慮した就労支援を行った。また、就職に有利となる資格取得についても助言し、奨励した。
- ② 職業安定所、児童相談所、家庭裁判所等の各種手続き、生活保護、各種手当の受給手続き及

び低家賃住宅（公営住宅）入居等に関する助言を行った。

③ P T A、町内会行事等への参加を促した。

④ 母親が安心して求職活動や就労ができるよう児童の見守りを行い、心身と生活を安定させるための援助を行った。

## (2) 児童への支援

① 成長期にある児童・生徒が、基本的な生活習慣を身に付けられるよう支援を行った。また、宿題等の学習支援を行った。

② 学習、生活面において問題を抱える児童に対して、母親や学校と連携し、個別支援を行った。

③ 体力向上及び自主性と責任感の成長を促進するため、スポーツやレクリエーションを行った。

④ 図書、DVD、スポーツ用品等の活用に努めた。

## (3) 一時保護受託業務

青森県女性相談所、八戸市福祉事務所、八戸警察署及び他の母子生活支援施設等と連携を図った。（令和元年度実績 1 件）

## (4) 退所母子に対するアフターケア

退所母子の現状確認を行い退所後も絆を保ち、退所者の意向を尊重しながら各種相談に応じるなど、アフターケアに努めた。

## 3 健康管理

(1) 嘱託医による健康診断、歯科検診を年 2 回実施し、異常がある者については、医師の助言を受け指導を行った。

(2) 常に身体の清潔に留意し、毎日、時間を定めて入浴を提供した。

(3) 食中毒及びインフルエンザ予防月間にはポスターを掲示し、また常会等で呼びかけを行うとともに、予防接種について周知し、感染症蔓延の予防に努めた。

## 4 苦情への対応

「施設利用者等の苦情解決制度実施要綱」に基づき、責任者、受付担当者及び第三者委員を設置し、苦情解決に関する体制を整備した。

また、施設内に苦情解決の仕組みについて掲示し、常会等で制度を紹介するなど、入所者に対し周知を図るとともに、前年度に引き続き第三者委員への報告会（現況報告・情報交換等）を実施した。

令和元年度苦情受付数 0 件

○苦情解決委員会第三者委員

川 口 司（長坂保育園園長）

漆 澤 紀 子（元八戸市根城地区東根城担当民生委員・児童委員）

## 5 施設サービス評価

(1) 施設が行うサービスに関して職員個々が自己評価を行い、改善すべき課題を明確にした。その結果、入所母子への施設のルール説明の方法等に課題が見つかり、今後の課題とし取り組むこととした。

(2) 八戸市による社会福祉施設に係る指導監査を受け、指摘事項はなかった。

## 6 安全管理

(1) 毎月 1 回、入所者の避難訓練を行うとともに、消火器やその他の防災設備について自主点検を実施した。また年 2 回、不審者対応訓練を行った。

(2) 年 2 回、居室内安全点検を実施し、不良箇所について各世帯に注意喚起を促した。

- (3) 施設機能強化推進費加算の総合防災対策事業を利用し、警備会社と火災監視サービス及び非常通報サービスの委託契約を継続した。また、玄関に設置されたモニターカメラ、施設外周に設置したフェンス・防犯カメラで警戒を行う等、不審者侵入対策を行った。

## 7 地域貢献・地域との交流

### (1) 実習生の受入れ

実習生を積極的に受け入れ、人材育成に努めるとともに、専門職養成に寄与した。

所属等	実習内容	期間	人数
八戸学院大学	介護等体験	7月22日～7月26日	2名
八戸学院大学短期大学部	保育実習	1月27日～2月6日	2名
八戸学院大学短期大学部	保育実習	2月17日～2月27日	2名
合計			6名

### (2) 地域との交流・連携等

月	日	内 容	場 所
5	19	こども会清掃活動	施設周辺及び近隣公園
	28	職員清掃活動	施設周辺及び近隣公園
7	20・21	八戸学院短期大学草取りボランティア受入れ	施設中庭草取り
	26	根城公民館講座「小学生の自習室」参加	根城公民館
9	29	こども会清掃活動	施設周辺及び近隣公園
10	12	根城地区自主防災訓練	根城中学校体育館
	24	職員清掃活動	施設周辺及び近隣公園

## 8 年間行事の実施状況

月	日	行 事 内 容	場 所
4	3	進級・進学を祝う会	八戸市
	19	せんべい汁提供	施設内
6	9	プラネタリウム観覧	児童科学館
7	7	親子レクリエーション	岩手県
	24	前期児童誕生会	施設内
8	10	夏祭り	施設内
10	30	ハロウィン・ハロウィン	施設内
11	10	児童ボウリング会	八戸市
12	20	クリスマス会	施設内
1	7	後期児童誕生会	施設内
2	5	豆まき会	施設内

## 9 職員研修の実施状況

### ○内部研修

月	日	研 修 内 容	人 数
4	4	緊急時の対応について	6名
	15	第1回中堅職員研修「人事評価」	1名
	24	一時保護の対応について	6名
6	26	食中毒防止について	6名
7	18	社会福祉法人指導監査対策セミナー報告	6名

9	25	北海道・東北ブロック母子生活支援施設研究協議会報告	6名
10	23	メンタルヘルスについて	6名
11	19	感染症について	6名
12	17	リスクマネジメントについて	6名
		社会福祉施設における就労支援担当者養成研修報告	6名
		DV相談・支援者向け講座報告	6名
	18	第2回中堅職員研修「人事評価2」	1名
1	19	実践研修報告会	4名
	23	虐待防止について	6名
3	24	福祉施設に望まれるハラスメント防止セミナー報告	6名
		令和元年度ファミリーソーシャルワーク研修会報告	6名
合 計			84名

○外部研修

月	日	研 修 内 容	開催地	人数
6	10	普通救命講習	八戸市	1名
	25	社会福祉法人指導監査対策セミナー	青森市	1名
7	30～31	甲種防火管理資格取得講習会	八戸市	1名
9	12～13	北海道・東北ブロック母子生活支援施設研究協議会	仙台市	2名
10	24～25	キャリアパス対応生涯研修（中堅職員コース）	青森市	1名
11	13～14	キャリアパス対応生涯研修（ファミリーターコース）	青森市	1名
	15	福祉施設に望まれるハラスメント防止セミナー	盛岡市	1名
12	13	社会福祉施設における就労支援担当者養成研修	八戸市	2名
	16	DV相談・支援者向け講座	青森市	2名
	18～19	社会的養護を担う児童福祉施設長研修会	東京都	1名
	30～31	ファミリーソーシャルワーク研修会	東京都	1名
合 計				14名

10 寄附の状況

令和元年度実績 0件

11 業務体制（定員 17 世帯）

○人員に関する配置基準（児童福祉施設最低基準第 27 条）

基準合計	施設長	母子支援員	少年指導員	調理員等 ※1	嘱託医 ※2	加算合計	個別対応職員加算	入所児童(者)処遇 特別加算
6	1	2	1	1	<1>	2	1	1

※1 調理員等は調理員又はこれに代わるべき者を置かなければならない。

※2 嘱託

○職員配置

（単位：名）

配置合計	施設長	母子支援員	少年指導員 (兼事務員)	調理員等 (少年指導員)	嘱託医 (内科・歯科)	用務員	加算合計	少年指導員	少年指導員補助
8	1	2	1	1	<2>	1	2	1	1

12 入所者の状況

(1) 入所世帯数 10 世帯 26 名（令和 2 年 3 月 31 日現在）

(2) 入所人員

（単位：名）

性別	3 才未満	3 才以上	小学生	中学生	高校生	母	合計
男	1	4	2	2	0	—	9
女	0	3	2	2	0	10	17
計	1	7	4	4	0	10	26

(3) 母親の年齢

年齢	18 歳未満	18～19 歳	20～24 歳	25～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	合計
人数	0	0	1	3	2	4	0	0	10

(4) 世帯の構成

世帯構成	2 人	3 人	4 人	4 人以上	合計
世帯数	6	3	0	1	10

(5) 入所理由

入所決定の主な理由	DV	住宅事情	その他	合計
世帯数	2	4	4	10

## (6) 母子世帯の原因

母子世帯の原因	離婚	未婚の母	別居	その他	合計
世帯数	4	3	3	0	10

## (7) 現入所者の在籍年数

平均在籍年数	最長年数	最短年数
1年11ヶ月	7年4ヶ月	1ヶ月

## (8) 施設利用状況

## ①各月の利用世帯数・人員

年 月	初日在籍		月間入所		月間退所	
	世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員
平成31年 4月	9 (5)	24 (16)	1(0)	2(0)	0	1(1)
令和元年 5月	10 (5)	25 (15)	0	0	0	0
6月	10 (5)	25 (15)	1(0)	2(0)	0	0
7月	10 (5)	25 (15)	1(1)	2(2)	0	0
8月	11 (6)	27 (17)	1(0)	3(0)	1(0)	2(0)
9月	11 (6)	28 (17)	0	0	0	0
10月	11 (6)	28 (17)	0	0	1(1)	2(2)
11月	10 (5)	26 (15)	0	0	0	0
12月	10 (5)	26 (15)	0	0	0	0
令和2年 1月	10 (5)	26 (15)	0	0	0	0
2月	10 (5)	26 (15)	0	0	0	0
3月	10 (5)	26 (15)	1(0)	2(0)	1(1)	2(2)
計	122 (63)	312 (187)	5(1)	11(2)	3(2)	7(5)

※ ( )内は広域分

## ②就労・子育て支援状況

(単位：件)

種 別	内 容	延 人 員	
		幼 児	児 童
病児対応	見守り	43	2
	早退対応	0	0
	通院代行	5	5
	その他	0	0
母親就労時対応	見守り	55	1
	児童の緊急時送迎	63	0
	母の求職活動	0	0
	保育園・学校行事代行	0	0
その 他	母親の用事・体調不良等のための見守り	162	82
	小 計	328	90
	合 計	418	